

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通対策費

事業名 中部国際空港代替滑走路整備事業貸付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園・交通局 電話番号：058-272-1111(内4933)
公共交通課 広域交通係

E-mail：c11134@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,250 千円 (前年度予算額：29,250 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|--------|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 29,250 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 26,300 | 2,950 |
| 要求額 | 3,250 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,250 |
| 決定額 | 3,250 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,900 | 350 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

第二滑走路建設促進に向けて、三県一市（愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市）、各県市長会・町村会、経済団体及び空港会社等で構成する「中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会」（事務局：愛知県）の一員として、国への要望活動等を行っている。

令和3年度に、愛知県知事の提案により「中部国際空港将来構想推進調整会議（知事級）」が開催され、12月に「中部国際空港将来構想」が取りまとめられた。

将来構想では、将来の需要動向に応じて中部国際空港沖公有水面埋め立て事業による新たな埋立地に滑走路を整備することを前提に、現滑走路の東側に滑走路を整備することで、喫緊の課題である現滑走路の大規模補修や完全24時間化などに対応する2段階整備案を策定しており、この第1段階であるB滑走路の整備に向けた調査・整備を実施するもの。

(2) 事業内容

早期の事業化を目指し、調査費・整備費について国・三県一市より中部国際空港㈱へ無利子貸付を行う。

全体事業費 14,000,000千円
(調査費 700,000千円、整備費 13,300,000千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

国・3県1市で中部国際空港建設時（I期）と同様の割合により、中部国際空港(株)に対して無利子貸付をする。

- ・国と地方の負担割合

国 : 地方 = 2 : 1

- ・地方自治体間の負担割合

愛知県 : 名古屋市 : 岐阜県 : 三重県 = 58.7 : 28.3 : 6.5 : 6.5

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|---------|
| 貸付金 | 3,250 | |
| 合計 | 3,250 | |

決定額の考え方

財源については、県債を充当します。

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・国は事業化に向け予算要求中
- ・愛知県、名古屋市、三重県は負担割合に応じて予算要求予定

(3) 後年度の財政負担

・調査はR4~6、整備はR6~9で実施するものであり、各年度ごとに要する費用に応じて負担が生じる見込み。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

貸付を行うことにより円滑な調査・整備を促し、第二滑走路（第1段階）の令和9年度供用開始を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R4年度 実績 | R5年度 目標 | R6年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| ① | | | | | | |
| ② | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

第二滑走路整備に向けた調査・整備であり、明確な数値目標を立てられないため

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|---------------|-----------------------------|
| 令和 2 年度 | |
| 令和 3 年度 | 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |
| 令和 4 年度 | 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

- 3 : 期待以上の成果あり
- 2 : 期待どおりの成果あり
- 1 : 期待どおりの成果が得られていない
- 0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)

- 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など